

登録コード	SSG05612	開講年度	2026					
授業題目	特別研究(生物学ユニット)					担当教員	笠原 里恵	
英文授業名	Special Research(Biology Unit)					副担当		
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期			
講義室						備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					【授業の達成目標】		
	2 4 SSカリ・理学							
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力					・学会発表などを通じ、自分の研究の学問的意義を明確に、また簡潔に相手に伝えられるようになる。		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学							
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力					選考研究を中心に情報収集をしながら、自身の研究の新規性や一般性について検討することができる。		
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力					・自身の研究に対する他者の助言を前向きに取り入れ、他者の研究に対しては建設的な意見を述べるができるようになる。		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学							
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					・学会発表などを通じ、自分の研究の学問的意義を明確に、また簡潔に相手に伝えられるようになる。		
(2)授業の概要	指導教員と相談しながら研究計画を立案し、それに基づいて野外調査や実験を進める。得られた結果について先行研究などをもとに考察し、修士論文としてまとめる。							
(3)授業のキーワード	研究テーマにより異なる。							
(4)授業計画	研究テーマにより異なるが、以下の流れに沿って実施する。 1) 研究テーマと目的を定める 2) 研究計画を立案して野外調査もしくは実験を実施する 3) 必要に応じて計画を修正、代替案を考案、遂行する 4) 結果を取りまとめて既存文献などを踏まえながら分析、考察する 5) 発表資料および修士論文にまとめる							
(5)成績評価の方法	研究に対する日々の取り組みや、研究計画の達成度、修士論文の完成度および質疑応答を含む口頭発表で評価する。							
(6)成績評価の基準	修士課程における成長度を評価の基準とする。自主的に、また必要に応じて指導教員と相談しながら研究を進めることができ、研究計画の達成度、修士論文および質疑応答を含む口頭発表の完成度が90%以上を秀、80-89%を優、70-79%を良、60-69%を可、60%未満を不可とする。							
(7)事前事後学習の内容	普段から積極的に専門分野の論文や書籍を調べ、読みこなして知識の習得を行うことが求められる。							
(8)履修上の注意	履修を検討している段階で指導教員とよく相談すること。							
(9)質問,相談への対応	随意時対応する。							
【教科書】	指定しない。							
【参考書】	指定しない。							